

■事前指示検討委員会

1. 目的

当委員会は2012年10月に、①当院でのDNR指示に関するさまざまな問題について審議し、患者さまの意思に基づく診療行為の確認がなされること、②事前指示の記録が客観的にわかりやすく記載され、その患者さまに関わる各職種のスタッフが容易にアクセスできることを目的に発足した。

2. 委員

関根龍一(委員長)、福武敏夫、小原まみ子、八重樫牧人、不動寺純明、林淑朗、松村昭彦、在間望美、飯塚裕美、千葉恵子、佐川智紀、齋東清道(事務局)、御園真子(事務局)

3. 活動内容

2014年1月より「事前指示書」の運用を開始し、2015年12月にはPOLSTを参考に作成した「コード確認書(医療処置に関する事前指示書)」へ改定を実施した。運用件数は増加傾向で昨年度は月間100件を超えるようになった。2017年度は「コード確認書」を作成する際の説明に用いる、心配蘇生についての説明パンフレットを王謙之医師(初期研修医)を中心に作成した。引き続き、現場での運用状況を確認しながら、当院における事前指示のあり方について検討をしていく。

文責：関根龍一